

社会資本総合整備計画

平成25年2月26日

計画の名称	1 雲南市都市公園における安全・安心の公園づくり（防災・安全）			交付対象	雲南市
計画の期間	平成24年度～平成27年度（4年間）				
計画の目標					

雲南市では、市総合計画において「環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり」を将来像の1つとして掲げてまちづくりに取り組んでいる。都市公園施設のバリアフリー化や改築・更新等を行うことにより、利用者が安全な施設を安心して利用できる公園づくりを目指す。

計画の成果目標（定量的指標）

危険度判定調査等に基づき施設の改築・更新が必要となった公園を事業計画に位置付け、平成24年度までに2箇所の整備を行う。
 施設のバリアフリー化が必要となった公園を事業計画に位置づけ、平成24年度までに2箇所の整備を行う。

定量的指標の定義及び算定式

公園施設整備が完了した箇所の割合を算出する。
 公園施設整備率 (%) = 公園施設整備完了箇所数 / 公園施設整備予定箇所数

定量的指標の現況値及び目標値			備考
当初現況値 (H24当初)	中間目標値	最終目標値 (H27末)	
0%	-	100%	

全体事業費	合計 (A+B+C)	32.0 百万円	A	30.0 百万円	B	0.0 百万円	C	2.0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	6.25%
-------	---------------	-------------	---	-------------	---	------------	---	------------	---------------------------	-------

交付対象事業

A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-A-1	公園	一般	雲南市	直接	雲南市	雲南市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	公園施設のバリアフリー化等(2公園)	雲南市						30.0	
										合計			30.0		

B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
										合計			0.0		

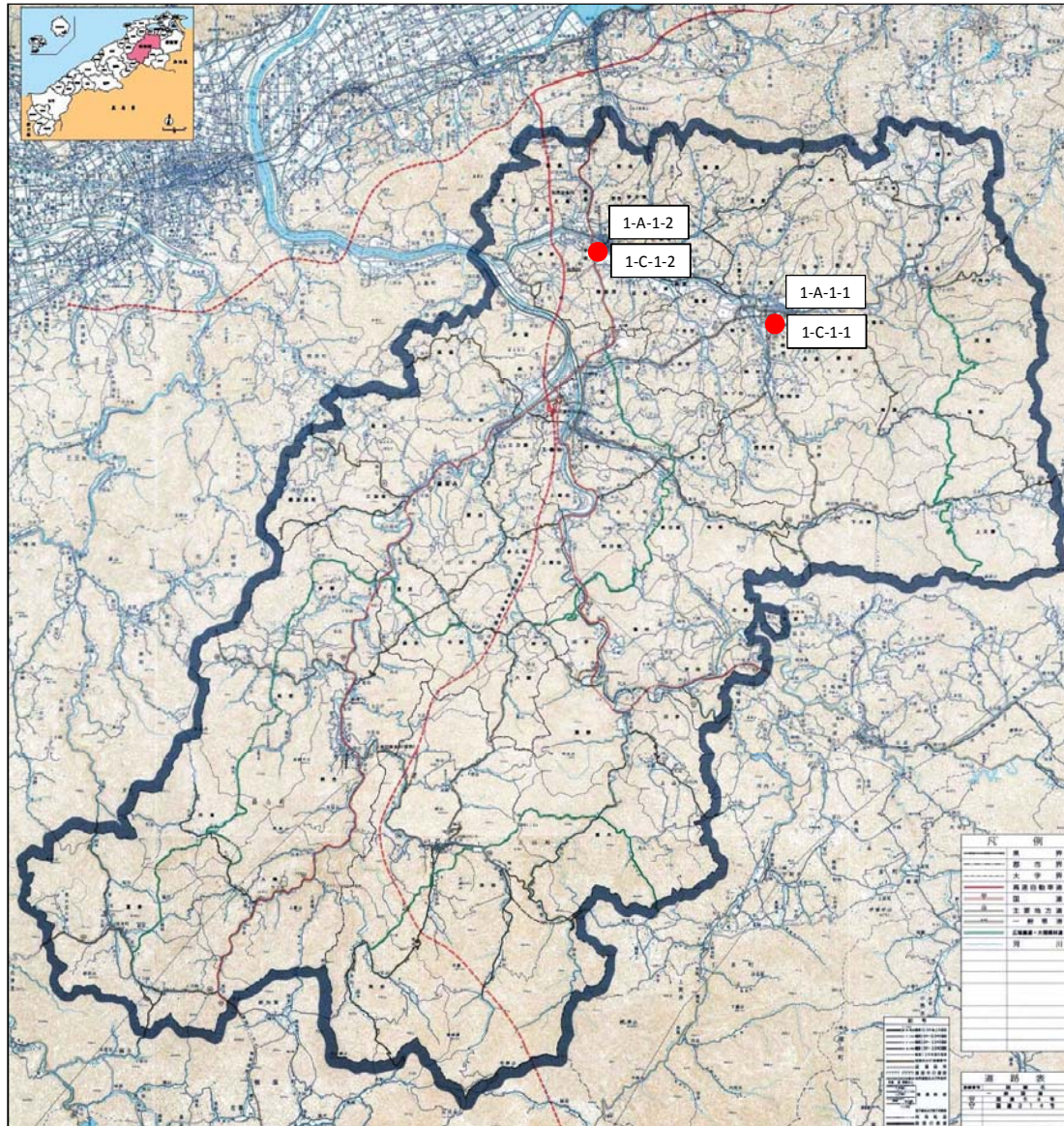
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									H24	H25	H26	H27	H28		
1-C-1	施設台帳整備	一般	雲南市	直接	雲南市	雲南市都市公園施設台帳整備事業	都市公園施設台帳整備(2公園)	雲南市						2	
										合計			2.0		

番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考
1-C-1	雲南市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業(1-A-1)で施設整備を実施する2箇所の都市公園における施設台帳を整備し、適正な維持管理を行うことにより公園利用の更なる安全・安心の向上を図る。														

社会資本総合整備計画

計画の名称	1 雲南市都市公園における安全・安心の公園づくり (防災・安全)	交付団体	雲南市
計画の期間	平成24年度 ~ 平成27年度 (4年間)		



事業名	雲南市都市公園
番号	安全・安心対策緊急総合支援事業
公園数	1-A-1
公園名	2
	1 大東公園
	2 加茂中央公園

事業名	雲南市都市公園施設台帳整備事業
番号	1-C-1
公園数	2
公園名	1 大東公園
	2 加茂中央公園

社会資本整備総合交付金チェックシート

(汎用タイプ)

計画の名称:雲南市都市公園における安全・安心の公園づくり(防災・安全)

都道府県・市町村名:雲南市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
②定量的指標の明瞭性	○
③目標と事業内容の整合性	○
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○